

# 西高の 進路指導

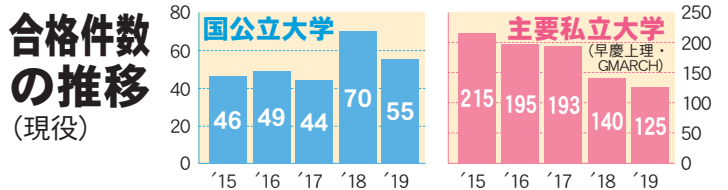
夢の実現、実力養成

将来やりたいことは何なのか、どのように社会と関わり貢献していきたいのか、生徒一人ひとりが高い志を持ち、将来を見据え、本当にやりたいことを見つけられること、そしてそれを実現できる大学に出会うことが教職員の願いです。第一志望の大学を目指して最後までとことん粘り強く努力ができるよう指導を行っています。

## 過去3年間の主な大学の合格件数

大学名	2019年3月	2018年3月	2017年3月
岩手大学		1	
東北大学		1	
福島大学	2	1	
新潟大学	1	1 (1)	1 (1)
信州大学		2	1
宇都宮大学	4	4	2
群馬大学		2	2
茨城大学	1 (1)	1	2
筑波大学	2	1 (2)	1
埼玉大学	11 (1)	18 (2)	8 (1)
千葉大学	1	1	3 (1)
お茶の水女子大学			1
東京海洋大学	1	2	3
東京学芸大学	1	2	1 (1)
東京芸術大学			(1)
東京工業大学		1 (1)	
東京農工大学		3 (1)	
電気通信大学	6	1	1
一橋大学	1	1	
横浜国立大学		2	2
山梨大学			1
静岡大学	(1)		(1)
富山大学	3		(1)
愛媛大学			1
長崎大学	1		(1)
宮崎大学		1	
鹿屋体育大学		1	
鹿児島大学		1	
琉球大学		1	
秋田県立大学			1
秋田公立美術大学			1
前橋工科大学	3	2	
高崎経済大学	(1)	1	2
会津大学	(1)		
群馬県立女子大学		2	
群馬県立健康科学大学			1
埼玉県立大学	10	9 (1)	5
首都大学東京	4	3	3
横浜市立大学			1 (1)
都留文科大学	2	1	
長野県立大学		1	
公立長野大学		1	
奈良女子大学	1		
京都工芸繊維大学	(1)		
兵庫県立大学			(1)
北九州市立大学		1	
合計	55 (6)	70 (8)	44 (10)

大学名	2019年3月	2018年3月	2017年3月
青山学院大学	13 (1)	8 (3)	12 (5)
亜細亜大学	8	3	7
学習院大学	12 (3)	11 (4)	17 (4)
関西学院大学		1	
慶應義塾大学	1 (1)	3 (2)	1 (1)
國學院大学	7 (1)	5	12
駒沢大学	12 (3)	7	26 (1)
芝浦工業大学	14 (6)	18 (4)	25 (1)
上智大学	6 (4)	2 (3)	3 (1)
成蹊大学	17 (4)	22 (1)	18 (5)
成城大学	17 (2)	19 (3)	13 (6)
専修大学	9	10 (3)	10 (2)
大東文化大学	17	16 (2)	15
多摩美術大学	1 (1)	4 (1)	4 (1)
中央大学	22 (5)	11 (5)	20 (4)
津田塾大学	1 (3)	6	2
東京女子大学	20 (1)	3 (2)	7
東京電機大学	22 (4)	10 (1)	15
東京農業大学	13 (4)	35	23 (1)
東京薬科大学	1		1 (2)
東京理科大学	5 (6)	12 (5)	11 (2)
東京都立大学	4 (1)	1	2
東京家政大学	21	28 (1)	19
同志社大学	1 (1)	(1)	
東洋大学	92 (9)	85 (10)	115 (17)
獨協大学	17 (1)	4 (3)	23 (5)
日本大学	42 (10)	27 (11)	64 (9)
日本女子大学	14 (1)	9	10 (1)
文教大学	21	9	10 (3)
法政大学	21 (7)	33 (8)	52 (7)
武蔵大学	15 (5)	10 (2)	36 (2)
武蔵野美術大学	4	1	5 (2)
明治大学	21 (8)	29 (5)	35 (4)
明治学院大学	8 (1)	15 (1)	13
明治薬科大学	2 (1)	5 (1)	4
立教大学	23 (2)	27 (2)	29 (3)
立命館大学	2 (2)	3	2
早稲田大学	1 (3)	4 (5)	13



指定校推薦 慶應義塾大学 東京理科大学 学習院大学 明治大学  
青山学院大学 立教大学 中央大学 法政大学 芝浦工業大学 など

## 世界で活躍する先輩方



蟹瀬 誠一氏 (昭和43年卒)

国際ジャーナリスト/明治大学国際日本学部教授

■経歴 上智大学文学部卒業。米A P通信社記者、仏AFP通信社記者、米『TIME』誌特派員を経て、1991年にTBS「報道特集」キャスターとして日本のテレビ報道界にも進出。現在は明治大学で教鞭をとるかたわら、『経済討論バトル頂上決戦』（朝日ニュースター）、『賢者の選択』（BS朝日）などのキャスターも努める。

私が通っていた頃の浦和西高校の魅力はなんといっても自由闊達なことでした。生徒が先生やクラスメートたちと本音で話し合っていました。そんな校風は今も変わっていません。変わったのは、グローバル時代となってさらに自由な発想と発言力が求められるようになったことでしょう。次の時代に世界で活躍したいと思っているのなら浦和西高校が一番です。



林 克彦氏 (平成2年卒)

九州大学医学研究院教授

■経歴 明治大学農学部卒業。理学博士。東京理科大学生命科学研究所助手、大阪府立母子保健総合医療センター常勤研究員、ケンブリッジ大学ガーデン研究所研究員、京都大学医学研究科を経て、現職。2011年iPS細胞(人工多能性幹細胞)から卵子を作ることに成功し、ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥教授の研究所を支えた。

浦和西高校のモットーは「自主自立」。しかし、これを実行することはしんどいことです。善悪を自分で判断して行動しなくてはなりませんし、それに対する責任もあります。私は研究の世界にいますが、未開の地を切り開くために「自主自立」は最も大切なことで、その基礎は浦和西高校で学びました。西高生には、貴重な3年間のなかで、社会に出て「自主自立」を貫ける人間力を身につけてほしいと思っています。